

関西大学ご入学に際して —目を離すな、手を離せ—

関西大学教育後援会会長

おか の しん
岡野 新



関西大学教育後援会会長を務めております、
岡野 新でございます。

新型コロナウイルスの影響により、関西大学としても、やむなく入学式を中止せざるを得なくなりましたので、私としてもこのような形でメッセージを届けさせて頂きます。

質の高い教育と環境

本日は、関西大学の新入生の皆さん、ご入学まことに改めてとうございます。

皆さんは、今、関西大学において、一人立ちのスタートラインにつきました。

友達ができるだろうか、勉強についていけるだろうか、クラブ活動はどうしようか等々、期待と不安で一杯かと思えます。

しかし、心配は全くありません。

関西大学は、極めて質の高い教育とその環境を提供してくれます。

ですから、皆さんに必要なのは、やる気と努力です。

やる気と努力があれば、必ず道は開けます。

是非、自分の夢に向かって精一杯頑張ってみて下さい、卒業の日に後悔のないように。

また、新入生のご父母・保護者の皆様、ご子女の関西大学へのご入学、まことに改めてとうございます。

ご父母・保護者の皆様のお喜びは、またひとしおかと思えます。

お喜びに浸られている中ではありますが、入学を機会にご子女の手を離してあげて下さい。

そして、私共教育後援会とともに、ご子女を注意深く見守ることといたしましょう。

もつとも充実した父母・保護者組織

本教育後援会は、戦後間もない一九四七年、



教育後援会総会

キャリア形成や就職への支援

一つは、ご子女のキャリア形成・進路・就職の支援に向けた取り組みです。

本教育後援会は、今般、ご父母・保護者向け

昭和二二年に創設され、本年、創立七三周年を迎える日本の大学でもっとも歴史があり、もっとも規模の大きい、そしてもっとも充実した父母・保護者による教育後援会組織であります(ちなみに、二〇一九年五月の総会では、六千人を超えるご父母・保護者が参加されました)。「大学と家庭の心のかけ橋」や「我が子の母校は我が母校」を合言葉に、私共の先輩方は大学と家庭の架け橋たらんとして諸活動を通じ、関西大学を全力で支援してまいりました。私共は、この古き良き伝統を踏まえつつ、更なる充実と改革の道を歩んでおります。近時、教育後援会は、三つの重点目標を掲げて活発に活動を展開しております。

のキャリア関連行事のみならず、ご子女のキャリア形成・進路・就職支援に向けた取り組みを、より一層充実させていく方針を決定しました。結果、就職活動が始まる現三年次生の進路決定の一助となるよう、ご子女の就職活動に関する詳細なスケジュールの管理が可能なカレンダー付きの「就職活動サポートブック」を、本学キャリアセンター監修のもと本教育後援会が作成・配布するなどいたしました。

本年度以降につきましても、ご父母・保護者の皆様の最大の関心事であります、ご子女のキャリア形成・進路・就職支援のより一層の充実に向けて、活動を進めて参ります。

千里山と全国一六都市での教育懇談会

二つには、教育懇談会のことであります。

教育懇談会には、例年五月の総会終了後に千里山キャンパスで開催される学部別教育懇談会と、主に夏期休暇期間中、遠隔地に在住されているご父母・保護者を対象に、関西大学の多数の先生方らが全国各地に出張し、ご子女の学生生活全般について、親しく懇談する地方教育懇



就職説明懇談会



地方教育懇談会

談会があります。

特に地方教育懇談会は、一九六三年、昭和三八年に全国の大学に先駆けて本後援会がスタートさせ、昨年も、全国一六都市で地方教育懇談会を開催し、大変好評を頂きました。

今年も、一六都市で地方教育懇談会を開催予定でありますところ、教育後援会は、地方教育懇談会を更に充実させると同時に、合わせて支部の活性化にも十分に目を配り、連携を強化させる方策を実行に移しております。

考古学・歴史学等の文化教育事業のバックアップ

最後は、文化教育事業の充実強化のことです。

関西大学の考古学・歴史学に対する取り組みは、古く、今を去る四八年前（一九七二年）に、関西大学の研究者・学生グループが、奈良県明日香村にある高松塚古墳から極彩色の壁画を発見し、あるいは、一九八六年には、インド北部のサヘート遺跡を発掘調査した結果、これがいわゆる「祇園精舎」跡であることを確認するなど、大きな成果をおさめてきました。

さらに、川原寺裏山遺跡や牽牛子塚古墳、マルコ山古墳の発掘などでも大きな成果をあげています。

教育後援会は、これらの活動に全面的な協力を行ない、その費用を負担するなどいたしました。そして、今般、これら関西大学の学術調査研究活動の実績や文化財行政に従事されている関西大学卒業生らによる推薦書などにより、仁徳天皇陵をはじめとする「百舌鳥・古市古墳群」が、初めて大阪で世界文化遺産に登録されました。

このような経緯から、教育後援会では、先般「世界文化遺産『百舌鳥・古市古墳群』調査研究振興会」を設立して、今後の調査研究活動等

を支援していくこととしております。

紙媒体からネットまで多彩な発信

こうした諸活動の情報を皆さんと共有し社会に発信するために、年に三回、週刊誌大で六〇ページ前後の会報『葦』を三万部発行するほか、新入生のご父母・保護者には、大学手引書『みちるべ』を手許にお届けしています。この『みちるべ』には学生生活の充実に向けた教育環境や諸制度をはじめ、関西大学の歴史や専任教員のプロフィールを紹介する「先生の横顔」などが掲載されており、他大学にはその類を見ない約六百ページにもおよぶ大著であります。

また毎年、大学紹介映画を製作し、教育後援会の総会や地方教育懇談会で皆様に映像で観ていただいております。さらにホームページやフェイスブックを運営して即時性の高い情報を紹介するほか、「関西大学インフォメーションシステム 保護者ポータル」では、ご子女の成績や履修状況をチェックすることができます。

むすび

どうか、こうした情報をもとにご父母・保護者の皆様におかれましては、大学の行事、そして、教育後援会の行事に、積極的に参加され、ご子女を側面から支援して頂きたいと思っております。ご子女の手を離しても、目は離さないで下さい。

最後に、なりました。

新入生の皆さん、そして、そのご父母・保護者の皆様、関西大学と教育後援会は皆様のご入学、ご入会を心より歓迎申し上げます。

目的意識を持って、共に、頑張っていきたいと思います。

最後まで読んで頂きまして、ありがとうございました。